ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

Rituximab療法
【尋常性天疱瘡】

4週毎　1コース予定

尋常性天疱瘡

主治医　　**指導医**

HBs抗原(　)、HBs抗体(　)、HBc抗体(　)、HCV抗体(　)

スケジュール

		day1	day15
リツキサン(リツキシマブ)	1000 mg/body	↓	↓

【注意】 ＊初回投与は必ず入院で実施すること

＊体温・脈拍・血圧・SpO2測定を速度アップ直前に行うこと

通常量より減量する際の理由

（レジメン）

day 1　＊初回投与は必ず入院で実施

① カロナール 500 mg　1錠　　ポララミン 2 mg　1錠　　内服

☆30分後より

② 生食500 mLにて血管確保

③ リツキサン　1000 mg　　＋　　生食　900 mL

◎輸液ポンプにて50 mL/時間で点滴静注

④ 50 mL/時間で30分点滴静注し、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて100 mL/時間で点滴静注

⑤ 100 mL/時間で30分点滴静注し、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて150 mL/時間で点滴静注

⑥ 150 mL/時間で30分点滴静注し、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて200 mL/時間で点滴静注

⑦ 200 mL/時間で30分点滴静注し、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて250 mL/時間で点滴静注

⑧　250 mL/時間で30分点滴静注し、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて300 mL/時間で点滴静注

⑨　300 mL/時間で30分点滴静注し、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて350 mL/時間で点滴静注

⑩　350 mL/時間で30分点滴静注し、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて400 mL/時間で点滴静注

day 15　＊day1 において発現した有害事象がGrade 2以下であった場合

①　カロナール 500 mg　1錠　　ポララミン 2 mg　1錠　　内服

☆30分後より

②　生食500 mLにて血管確保

③　リツキサン　1000 mg　　＋　　生食　900 mL

◎輸液ポンプにて100 mL/時間で点滴静注

④　100 mL/時間で30分点滴静注し、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて200 mL/時間で点滴静注

⑤　200 mL/時間で30分点滴静注し、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて300 mL/時間で点滴静注

⑥　300 mL/時間で30分点滴静注し、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて400 mL/時間で点滴静注

	1コース	
	day1	day15
月日	/	/
リツキシマブ 開始時間	↓	↓
確認		